

# 1.5 資料ページ 江守正多 Seita Emori

## [資料 1.5.1]

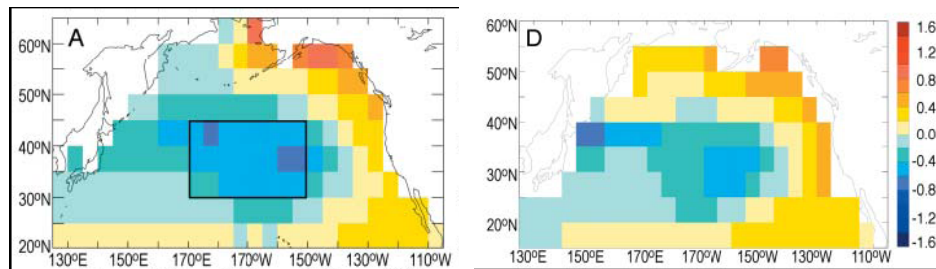


図 1.5.1

太平洋十年規模振動 (PDO) の空間パターン. 左: 観測データにおける PDO パターン (1900-1999 年の北太平洋冬期における海面水温の主要変動モードとして抽出されたもの). 右: 気候モデル結果における PDO パターン (2001-2099 年の北太平洋冬期における海面水温の変動から, 温暖化トレンドの次に主要な変動モードとして抽出されたものであり, 10 モデルの平均). 気候モデルが PDO を現実的に再現しているのがわかる. Overland, J. E., and M. Wang (2007), Future Climate of the North Pacific Ocean, Eos Trans. AGU, 88(16), doi:10.1029/2007EO160003. Figure 1 (a) (d)より.

## [資料 1.5.2]

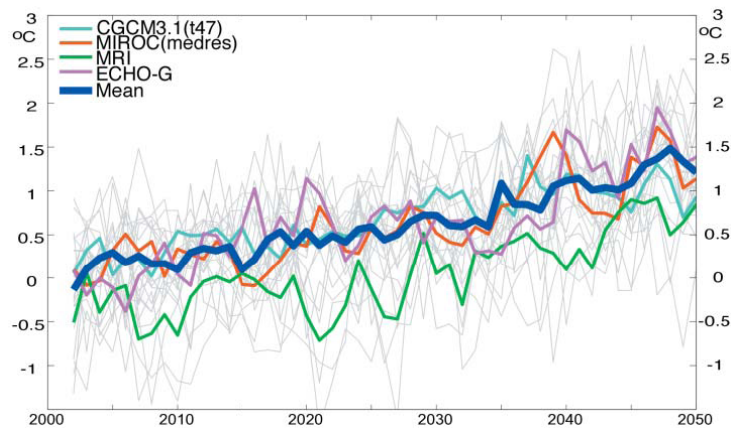


図 1.5.2

気候モデルにより計算された 2000 年-2050 年の北太平洋冬期海面水温の変動 (図 1.5.1 左において四角で囲まれた領域の冬季の海面水温の変動). グレーの細線は個々の計算例 (複数のモデル, 複数の初期条件) で, 大きく変動しているのがわかる. カラーの細線は複数の初期条件の計算結果をモデル毎に平均したもの. 紺色の太線はすべての計算結果を平均したもので, 大きな変動は互いに打ち消しあい, ほぼまっすぐな温暖化トレンドが残る. Overland, J. E., and M. Wang (2007), Figure 3 より.